

受賞おめでとうございます

令和4年度 森と人を育てるコンクール 優秀賞

だてのたかお
館野高夫氏・きえ子氏(栄浜)



全道の各地域において適切な森林整備を實踐し、模範となる優良林分を育てている森林所有者を表彰する「森と人を育てるコンクール」において、館野高夫さん、きえ子さんご夫妻が優秀賞に選ばれ、12月6日(火)に賞状が伝達されました。

館野さんご夫妻は、町内に23.59haの山林を所有し、山仕事に熱心だったお父様とともに幼少期から長年、森林整備に取り組んでおり、「自分の山は自分で管理する」ことを旨とし、自力で植栽や下刈り等の作業を行い、産出された木材は自ら経営する食堂や民宿に利用するなど、木材の魅力を広く伝えています。

「植えて、育てて、伐って、使って、また植える」という森林資源の循環利用を実践されている模範的な活動が認められ、この度の受賞となりました。

令和4年度 「第61回全国林業経営 推奨行事」林野庁長官賞

まきのひとし
牧野仁氏(落部)



地域林業の振興と発展に寄与されている森林所有者を表彰する「第61回全国林業経営推奨行事」において、牧野仁さんが林野庁長官賞を受賞されました。

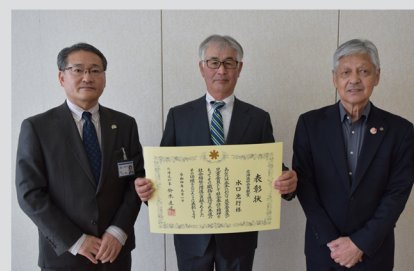
牧野仁さんは、町内に58.05haの山林を所有し、代々引きつがれてきた山林を守り育て地域に貢献することを目標に林業経営を行っております。人工林の育成では、間伐による適正な密度管理を行い良質な大径材を生産し、有利な販売と適確な更新を図り森林資源の循環利用による持続可能な森林経営を実践しております。

また、平成18年から山越郡森林組合の理事などを歴任し、平成29年からは代表理事組合長として地域の森林・林業の発展に貢献するとともに、令和元年には北海道の「指導林家」に認定され、林業技術の普及や後継者の育成に努めております。

これらの功績が認められ、この度の受賞となりました。

北海道社会貢献賞 (社会事業関係功労) (国民健康保険事業功労) 国民健康保険中央会表彰

みずぐちただゆき
水口忠行氏(山崎)



水口忠行さんは、平成7年12月に八雲町民生委員に選任されて以来、現在に至るまで27年間もの長きに渡り、地域福祉活動や高齢者福祉活動に熱心に取り組み、特に平成28年12月からは、八雲町民生委員児童委員協議会の副会長として円滑な協議会運営に尽力されております。

また、平成13年7月からは八雲町国民健康保険運営協議会委員に就任され、平成30年度国民健康保険都道府県単位化など制度がめまぐるしく改正される中において、被保険者を代表とする委員として高い見識をもって務められ、平成28年4月からは会長職務代理者として会長を補佐し、21年余の長きに渡り、国民健康保険事業の円滑な運営に尽力されております。

これらの活動の功績が認められ、この度の受賞となりました。